

困った患者

高 勝義

私達医者を困らせる患者さんには、先生と名のつく部類の職業の人が多いようである。医者、学校の先生、議員などの先生、それにわけの分からない先生と呼ばれる人々である。

その一人である私も、ある時期患者さんになったことがある。年のせいであろう。頸椎椎間板ヘルニアになってしまい、その痛みを耐えかねて、恐ろしい頸椎の手術を受ける羽目になってしまった。仕事が忙しいので、執刀医に無理を言い、正月の休みを利用して手術をしていただくように頼みこんだ。もうすでに医者のがまをとおしてしまっただけである。

手術は無事終了し、やれやれ、これで助かったワイと思ったのもつかの間、突然の痛みが襲ってきた。なまじっか知識があるために、変な解釈をして、いよいよ自分もこれでだめになってしまったようだ、と思い込んでしまった。ここでもすでに医者を信用せず、自分勝手な解釈をしているのだが。主治医の若い先生は、私に対して遠慮をしているのであろう。どうしてこんな痛みが続くのか、十分説明をしてくれない。さらに、どういう訳か、鎮痛剤を十分使ってくれないのである。ついに私の堪忍袋の尾が切れてしまい、色々と不満を言っただけ。自分ではずいぶん遠慮をしていたつもりではあったのだが。

当時、病院の中では、まことに扱いにくい患者さんの筆頭であったらしい。しかし幸いなことに、先生方の必死な努力で、痛みも軽くなり、何とか退院することが出来た。退院する時も、自分ではかなり気を使ってお願いしたつもりではあったのだが、病院の看護婦さんや、特に受け持ちの先生方には、わがままを通して退院したと思われたようである。

お恥ずかしい話であるが、先生といわれる患者さんに困っている自分が、かくの如くである。いわんや、学校の先生、弁護士の先生、議員の先生、その他もろもろの先生がわがままをいうのは当然であろう。職業の如何を問わず、患者さんのわがままを聞くのは、われわれに課せられた義務なのであろう。

最近思うのだが、色々な患者さんのわがままが聞けなくなったら、外科医はもう辞めるべきだと。どんな困難にも、どんなわがままにも耐え忍ぶことができるのは、強い精神力と、強い体力が必要なようだ。もう少し医者を続けるには、精神と体を鍛えねばと思っている毎日である。
(山下病院 院長)

勉強会案内

痴呆症の人のための

超コミュニケーション法セミナー

アメリカ・ヨーロッパの痴呆性高齢者のケアの現場で圧倒的な支持をえているバリデーション。長年高齢者ケアにかかわってきたソーシャルワーカーの試行錯誤の中から生まれてきたコミュニケーション法。

「共感」するとはどういうことかを明らかにし、それぞれの痴呆の段階に応じて効果的なテクニックを紹介。

◇講師・篠崎人理(きのこ老人保健施設施設長) 他

◇日時・平成13年9月29日(土) 13時30分~16時30分

◇会場・日本福祉大学 サテライトキャンパス名古屋 (名古屋市中区千代田5-22-32)

◇参加費・4,000円

◇主催・NPO法人全国コミュニケーションライフサポートセンター

◇共催・あいち宅老連絡会他



バザーに協力下さい

会では今年も会の運営資金にと十一月十一日(日)に事務所でバザーを行います。あわせて、模擬店も開催、にさせていたいただきたく準備を始めています。ご家庭に眠っている不用品がございましたら、事務所にまでご連絡下さいますようお願い致します。尚、今回は衣類は取り扱いませんのでご了承下さい。

ミニデイサービス便り

お年寄りと戦争体験と

ボランティア体験学習の学生たち

今年の夏休みも、青少年ボランティア体験学習に中高生が、当ミニデイサービスに参加した。

毎年、8月6日・9日・15日前後にあるデイサービスでは、戦争のことや原爆の話が“ぼつり”“ぼつり”と話題にのぼる。

今年も、8月9日が丁度デイサービス当日。参加のお年寄りから

「今日は長崎に原爆が落とされた日です。わたしの両親や兄弟が亡くなり、又わたし自身も被爆しました。忘れられない日です」とおっしゃって《長崎の鐘》を唄われた。

毎年思うのだが、ボランティア参加の中学生のお母さん方はもう戦争を知らない世代。

学生が戦争の話聞くことはほとんど無いと言っていい。ボランティア体験学習に参加して、そこでお年寄りから直接、戦争時代の体験を聞ける機会を大切にしてもらいたいと思う。

お昼休みに、ぼそっと84歳のIさんがおっしゃった。「一宮が空襲にあった日、空襲警報が出て、防火用水に入っていたら、逃げて来た人がそこに置いてほしいと入ってきた。自分は、その方が入れるように席をあけ、位置を変えた。その見知らぬ方が用水に入った直後、焼夷弾が落ちて、その方の顔が飛んだ。防火用水はひっくりかえったが、私は助かった。その方に命をもらったのよ」と話される。学生は何と聞いてその話を聞いていたのだろうか。

「流しそめん」に屈託なく興じる学生達。お年寄りも身を乗り出して、青竹の中のそめん探し。

「冷たい氷水で抹茶をたてる」ことに目を輝かす学生。それを本当においしそうに飲まれるお年寄り。

大きなハウキに墨をつけ「未来」「夢」と元気に書く学生。

保育園の園児とお年寄りと学生が同じように、まごころ体操「365歩のマーチ」を踊る。

56年前のあの夏には考えられない穏やかな、豊かな夏の風景である。学生達は「とても楽しかった」と言葉を残してくれた。

元気で頑張ってください!

☆9月のデイサービスは次のとおりです
保育園 9/13、27 事務所 9/6、15、20

9月の予定

- 1日(土) 会報「まごころ」発行
- 2日(日) 定例会
- 3日(月) コーディネーター会議
- 講師ボランティア 鉢、嶋
- 6日(木) ミニデイサービス (事務所・事務所)
- 講師ボランティア 畑、嶋
- 10日(月) コーディネーター会議
- 講師ボランティア 鉢、坪
- 12日(水) ミニデイ委員会
- 13日(木) ミニデイサービス (事務所・保育園)
- 講師ボランティア 畑、石原
運営委員会
- 15日(土) ミニデイサービス (事務所・事務所)
- 16日(日) あいち宅老連絡会
- 17日(月) コーディネーター会議
- 講師ボランティア 谷、小林
雇用管理セミナー 名屋
- 20日(木) ミニデイサービス、ミニ定例会 (事務所・事務所)
- 講師ボランティア 嶋、牧野
- 26日(水) ミニデイ委員会
- 27日(木) ミニデイサービス (事務所・保育園)
- 講師ボランティア 畑、畑
理事会
- 28日(金) NPO法人代表者会議
- 29日(土) 出版記念講演 日本福祉大学
「痴呆症の人のためのコミュニケーション法」

福祉用具リサイクル情報 譲りたい情報

- ◎ポータブルトイレ
- ◎椅子型ポータブルトイレ
- ◎シャワーチェア
- ◎浴槽用椅子

シャワーチェアを病院から自宅へ2泊3日で、外泊される方に貸し出しました。いつでもご利用下さい。

感謝 本をご寄付いただきましたこの度、K様から痴呆症の専門医室伏君士氏の著書「痴呆性高齢者への介護とケア」を5冊いただきました。ありがとうございました。ケアに役立てさせていただきます。



10月の定例会は

10月7日(日) 事務所 9時30分~12時30分
◆定例会 9時30分~10時30分
◆勉強会 10時30分~12時30分
内容 「ケアについて検討します」
この日の午前のケアはお休みです
利用者さんよろしくお願い致します

7月会員登録状況	
協力会員	41人
利用会員	61人
賛助会員	108人
計	210人

7月有償活動	
在宅活動件数	14件
活動人数	19人
活動時間	142.5時間
ミニデイサービス利用者	56人
移送サービス利用件数	68件

7月介護保険訪問活動	
訪問件数	52件
家事	401 時間
複合型	276 時間
身体	249.5 時間
合計	926.5 時間